

〔第171明専塾（九州電力株）〕

地元九州を支える電力事業

工学府電気電子工学専攻M1 吉川 雛



講演会

今回、講演していただいた先輩方は木下智志氏（電H23）、東小路政史氏（電H20）、大塚康裕氏（情H21）、篠川慧氏（建H27）、縄田能久氏（電H14）の計5名でした。講演会では、会社概要や日々の業務に加え、新プロジェクトへの取り組みや学生に向けたメッセージ等、様々なお話がありました。

講師の方々のお話を聞き、確立さ

平成31年1月25日、戸畑キャンパスにおいて第171回明専塾が開催されました。今回の明専塾は、九州電力株のOBの方々に講演していただきました。九州電力株は、九州各地に安定した電力供給を行っており、福岡で育った私にとって身近な存在です。私は、業務体験や共同研究を通して、人々の生活を支える九州電力株に興味を持ちました。そのため、今回の明専塾は九州電力株への理解を深めるチャンスだと思い、参加しました。この場をお借りして、講演内容や感想を述べさせていただきます。



講演会の様子

れた電力業界でありながらも、新しい技術開発や点検方法の見直し等に取り組んでいることを知りました。このことから、より良い電力の安定供給を実現するため、挑戦し続けるという点で、九州電力株で活躍することに魅力を感じました。また、私は電気工学を専攻しており、これまで情報通信や土木建築分野の業務内容についてあまり学ぶ機会がありませんでした。そのため、様々な分野について知ることができた今回の明専塾は、九州電力株について、また電力業界についてより深く学ぶことができる良い機会となりました。

懇親会

講演後に設けられた懇親会では、OBの方々と食事をしながらお話を聞くことができました。講演会では質問しにくかった疑問に対して、気軽にかつ丁寧に答えていただけました。東小路氏と木下氏は私が所属する研究室のOBということもあり、業務内容のことから研究室の話、就職のアドバイス等のプライベートな内容もお話することができました。また、縄田氏は技術分野以外にも人

事担当の経験があり、就職に関するお話やアドバイスをいただくことができました。このように、懇親会は日頃中々聞きづらいこともOBの方々と気軽に話すことができる大変貴重な場だと思います。

最後に

最後になりましたが、ご多忙の中私たち学生に講演をしていただいた九州電力株のOBの皆様、ならびにこのような貴重な機会を提供していただいた明専会や教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

（平成31年1月記）



懇親会の様子